小郡市立大原中学校　令和7年5月20日　第19号

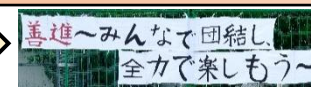
大原中学校だより

「自走」と「協働」と「主体性」　校長　野中文明

【学校教育目標】自分の人生をよりよくするために、自分で考え判断し行動できる生徒の育成

５月１８日（日）に体育大会が開催されました。応援ありがとうございました！

お互いの笑顔を引き出せる素晴らしい生徒達です！



５月１８日（日）に本年度の体育大会が開催されました。天候が心配されましたが、当日の早朝から多くの生徒、教職員の協力を得て準備を整え、予定通りに実施することができました。ＰＴＡ父親委員会の皆さんにも早くからご協力いただきました。誠にありがとうございました。また、保護者や地域の皆様には、開会式前から多くの方々にお越し頂き、最後まで熱心に拍手や声援を頂きました。本当に有り難うございました。　　ＰＴＡ会長には、競技にも参加して頂き、生徒と一緒に走ってもらいました。ブロック演舞の審査でも、来賓の方や卒業生にご協力を頂きました。本年度より、熱中症を避けるために５月開催に変更しましたが、当日は気温もさほど上がらず、熱中症等で体調不良を訴えた生徒はいませんでした。

さて、今年の体育大会ですが、私は生徒達の「笑顔が多く」見られ、「みんなで楽しむ」ということを大切にしようという意識が感じられた、とても素晴らしい体育大会だったと感じています。本校の体育大会は、基本的に生徒会を中心として**生徒達が実行委員会を組織し、企画・運営する生徒主体の活動**です。今年は春休み中から取り組みを始めました。誰も経験したことのない５月開催に向けて、様々な制約や変更の必要性を乗り越え、**新しい大原文化、体育大会の伝統**というものを作り上げてくれた生徒達に対して尊敬と「ありがとう」という感謝の気持ちでいっぱいです。生徒達は、自分達が主導して行なう一連の体育大会の取り組みを通して、

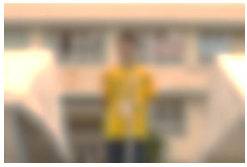
◇　自主性から主体性へ意識の転換と当事者意識

◇　目標達成に向けて協働することと協働する上で必要な他者との感情や行動の調整、そして自分自身の感情との折り合いの付け方や対処法

を学んでいきます。特に学校（多くの人間が集まって活動する場所）でしか学ぶことのできないことに、人との関わり方があります。私は、人との関わり方は、人と関わる経験を重ねることでしか学ぶことはできないと思っています。今回、生徒達は**「協働することを通して、その中で楽しさを感じて欲しい」**つまり**「人と何かを一緒にすることの良さを感じて欲しい」**ということを、一生懸命に取り組む中でこそ達成できると思い取り組んできました。ですので、練習中、リーダー達の口からは、技術的なことよりも

◇　笑顔でいきましょう　　◇　楽しみましょう　　◇　もっともっと声を出しましょう

と言う言葉が何度も何度も繰り返されていました。そして、リーダー達が率先して実行し、周りがそれに応えていました。本当に素晴らしい生徒達です。



そして、生徒達は更に先を見据えています。生徒達が目指すゴールは

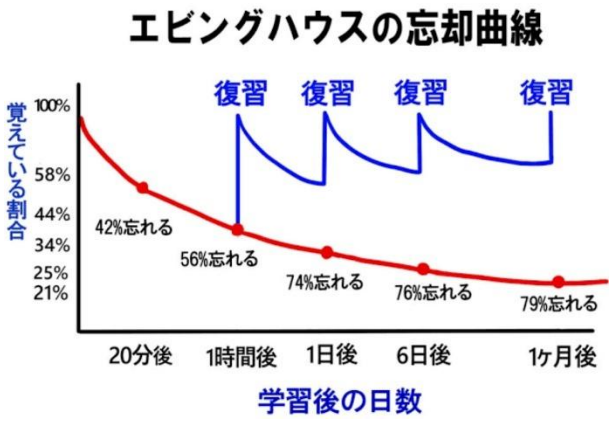
◇ 仲間と支え合える関係をつくる　◇ 何事にも全力で取り組む

ことのできる学校をつくるというものです。例年なら９月に経験することを、今年は５月に経験することができました。生徒達にとって、**今回の経験を生かすことの出来る期間があと１０ヶ月**もあります。このアドバンテージを生徒一人ひとりが、自らの成長にどのように生かすのか？とても楽しみです。

自分の人生をよりよくするものはたくさんあります…「勉強」もその１つです！

「勉強」とどう向き合いますか？

さて、新学期が始まって慌ただしかった毎日も、体育大会が終わり一段落しました。少し落ちついて毎日の学校生活を送ることができるようになります。ところで、皆さんが毎日の学校生活の中で一番多くの時間を費やしているのは何でしょう？そうです・・・授業です。皆さんは、「勉強」にどのように向き合おうと思っていますか？「勉強」が好きな人も嫌いな人もいるでしょう。私は・・・好きではありませんでした。しかし、**勉強することは、私たちの将来への選択肢を広げてくれます。**

- ◇ 自分の読む力、書く力、計算する力をはじめとして、知識・技能、ものの見方や考え方が身につく。
- ◇ ものごとが分かるようになる。人の話を理解することができる。
- ◇ 自分自身がやりたいと思ったことや巡ってきたチャンスに対して挑むことができる。
- ◇ 自分自身がやりたいと思うことを生み出すことができる。
- ◇ 世の中の流れや仕組、解決すべき課題を読み取り、対応することができる。

はっきり言います。勉強に力を入れましょう。勉強に力を入れるとは、内容を理解する／内容を再現できる／内容を活用できるようにしておくということです。私たちは、授業の中だけで全てマスターできれば良いのですが、それは無理です。仮にできても、右図のように必ず忘れます。だから、家庭学習が必要です。もし、**「自分は～だから」と自分自身にレッテルを貼っているのなら、成長の妨げ**になります。**今すぐに剥がしてしまいましょう！**